

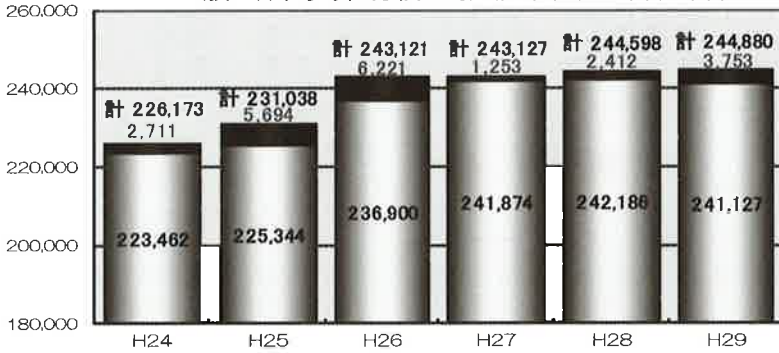


◆ 市民参加型 市政づくり ◆ 民進・無所属の会会報

発行所 鹿児島市議会 民進・無所属の会 議員団
〒892-0816 鹿児島市山下町11番1号
TEL・FAX 099-224-7353 内線 4061・4062・4063
mail: minyu-01@kagoshimashigikai.com

鹿児島市議会議員
さんたんぞの
三反園 輝男
議会報告

一般会計予算規模の推移 (単位: 百万円)



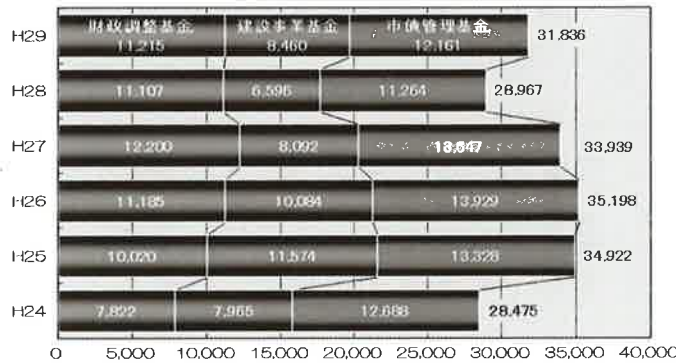
平成29年度当初予算241億27百万円としました。また、28年度前倒し分37億53百万を加えた実質的な当初予算244億8千万円は過去最高の予算となりました。

平成29年度当初予算

平成二十九年第一回鹿児島市議会定例会は二月十三日から三月二十一日まで開催されました。今回提案された平成二十八年度補正関係議案二十一件、平成二十九年年度新年度関係議案三十七件を原案どおり可決・同意して終了しました。

平成二十九年第一回定例会終了

基金残高の推移 (単位: 百万円)



平成29年度新規事業

平成29年度より54の新規事業に取り組み、更なる街づくりに取り組んでいきます。主な事業は以下の通りです。

- **明治維新150周年事業**
(16,643千円)
薩摩藩パリ万博出展等を

テーマとしたシンポジウムや薩摩維新ふるさと博などを開催するほか、新たに市内各所で幕末・維新期の雰囲気を感じられるおもてなしの充実を図ります。

● 男性の育児参加ムーブメント 推進会議開催事業 (839千円)

新たに男性の育児参加ムーブメント推進会議を開催し、仕事と育児の両立に向けた環境整備に努めます。

● おやじの会活動支援事業 (4,080千円)

「チーム学校」の一員として大きな役割を果たしている「おやじの会」の活動を充実させるため、研修会を実施するほか、活動に対する助成を行います。

● 団地再生推進事業 (248千円)

活力ある団地への再生に向けて、具体策の検討を行います。

● ネットアジア・鹿児島 “イノベーション” 戦略策定事業 (15,200千円)

アジアとの人・もの・情報の多面的な交流を成長エンジンとして、鹿児島の新たな活力を生み出すための戦略の策定に取り組みます。

● サッカー等スタジアム 整備検討事業 (1,686千円)

サッカー等スタジアムの整備について、協議会において、整備に係る基本的な事項を検討します。

● 観光客周遊性向上検証事業 (10,022千円)

観光客の利用が多い電停等に公衆無線LANを整備するとともに、ビッグデータを活用した観光客の動態調査を行います。

● 街頭防犯カメラ設置費 補助事業 (3,090千円)

犯罪のない安心安全なまちづくりを推進するため、町内会等が行う街頭防犯カメラの設置に対し、設置費の一部を助成します。

● ふれてみよう! かごんま弁事業 (600千円)

かごんま弁にふれる機会を児童生徒に提供することにより、興味、関心を喚起するとともに、普及、継承に取り組む文化団体の活動を促進します。

意見書

指定給水装置工事事業者制度に更新制の導入を求める意見書

主な代表質疑

問 かごしまコンパクトなまちづくりプランと団地再生推進事業との関連性は

答 かごしまコンパクトなまちづくりプランにおいては、公共交通との連携のもと一定の人口密度を維持し、生活利便施設や地域コミュニティが持続的に確保されるよう居住を誘導する居住誘導区域を団地も含めて、設置したところである。

問 団地再生推進事業においては、これを踏まえ、事業の目的が達成できるよう、具体的施策の実現に向けて、取り組んでいきます。

問 入札契約手続きの効率化、前金払制度の活用及び支払限度額の見直しの現状は

答 28年度は最低制限価格の算定方法を見直したほか、前払金の使途を現場管理費及び一般管理費等の費用まで拡大するなど工事の円滑な施工が確保されるよう努めていきます。

問 介護人材及び障害福祉人材の処遇改善の新制度の内容、実施時期と人材に届いた内容の確認はどのようにするか

答 新たなキャリアパス要件を設けた加算区分を創設

する予定となっており、賃金の引き上げになると考えている。実施時期は平成29年4月からで、加算を取得しようとする事業者は、本市に届け出る計画書に基づき手当や賞与等として支給することとなり、その確認については、事業所からの実施報告書と国保連合会の支払報酬データとの突合により行っていく予定です。

問 地域包括支援センター設置から10年が経過するが、この間の総括と評価と課題は何か

答 センターは、介護・福祉等の総合相談などを通して、地域における高齢者とその家族の暮らしを支えてきている。今後とも、地域包括ケアの中核機関として、センターが担う役割は大きいことから、その機能を発揮できるように体制整備に努めていきます。

問 なぜ、敬老祝事業を見直すこととなったものか、また、その周知方法は

答 地域包括ケアシステムの構築に向けて、各種施策を推進することとしており、財源の効率的・効果的な活用が必要なことや、他の中核市の状況等を総合的に勘案し、事業の見直しを行うこととしたところである。また周知につきましては、市民のひろばや市ホームページへの掲載のほか、民生委員等を通じて行

つていきます。

問 民生委員の選出方法の改善は

答 各地区ごとに組織される民生委員候補者地区選考会へのアンケート調査を実施するとともに、選考期間を前回より長く確保するなどの改善を図ったところである。また、地区選考会に対し、委員全員で取り組むよう説明会を通じ、お願いしたところであります。

問 狭隘な地域（消防警備強化地域）の防火訓練の取組みと課題は

答 平成27年度は9地域で14回、平成28年度は予定しているものを含め、8地域で15回となっているが、地域の高齢化等もあり、参加者が少ないことが課題である。今後、地域との連携を図るなかで、住民の自主防火意識を高め、参加促進に努めていきます。

問 平川動物公園において、飼育する動物の種類数の変化を20年前と比較してどの様になっているか

答 種類数については、平成7年度末で173種類、1168点、平成27年度末で133種類972点あり、20年間で40種類、196点減少している。20年前と

比較して、現在飼育していない主な種としては、ゴリラ、ヒグマ、ウンピョウなどであります。

問 平川動物公園において、ワシントン条約の附属書Iに掲載されている種類数と現在飼育している種類数は

答 ワシントン条約の附属書Iに掲載されている哺乳類、鳥類、爬虫類の種の数は572種で、そのうち平川動物公園で飼育しているのは27種であります。

問 平川動物公園の遊園地の拡大や大規模な大型遊具のリニューアルを考えるべきではないか

答 遊園地敷地の拡大や大規模な大型遊具のリニューアルについては、敷地の地形上の制約や費用面などを含めて、平成29年度作成する基本計画を策定する中で各方面から検討していきたい。

問 国体の選手強化に向けた、指導者のあり方と体制強化に向けた考えは

答 市教育委員会が委嘱した外部指導者の中・高等学校に派遣しており、今後も継続していきたい。また、指導者の人事異動については、今後とも県教育委員会と連携していきます。

いつでもお気軽にご連絡ください。

☆鹿児島市議会民進・無所属の会議員団☆

〒892-0816 鹿児島市山下町11番1号

TEL・FAX 099-224-7353 内線4061・4062・4063

mail:minyu-01@kagoshimashigikai.com

